

おおぞら



20170318 現在



20170411 現在



20170506 現在



20170529 現在



20170904 現在

2017年11月
沼隈病院に連結して
地域密着型特別養護老人ホーム
まり沼隈 開設
沼隈病院 外来 移転



20170829 現在



20170624 現在



20170807 現在

【沼南会理念】

私たちは、医療・看護・介護のトータルサービスで、地域のみなさまが笑顔でいきいきと人生をおくることができるよう支援します。

【沼隈病院理念】

私たちは、急性期医療から在宅医療までのトータルケアで、地域のみなさまの健康と安全な生活を支援します。

【患者のみなさまの権利】

1. 個人の尊厳と安全で安心な医療を平等に受ける権利
2. インフォームドコンセントと自己決定の権利
3. 診療情報の提供を受ける権利
4. プライバシーの保護と機密の保持の権利





まり デイサービス内海を紹介します!



内海地域の方々、多くの皆さまのおかげで、今年、開設 8 年目を迎えることができました！
開設当初からコンセプト《「あなたの笑顔」を応援！自らが選択・決める！》を機軸に持ち続けながら介護スタッフ一同が一丸となり日々取り組んでいます。

まりデイサービスの特徴

認知症リハビリテーション

当事業体での、認知症へのアプローチ、当事者のみならず、御家族の方との普段の生活や、今までの、『生活史』を聞きながら、向き合った中で専門的サービスが提供できるように取り組んでいます。また、『回想法』など、認知症への具体的アプローチを学んでいるリハビリ・介護スタッフが、認知症の方の改善・役割づくりに取り組んでいます。

生活リハビリテーション

『生活リハビリ』は、本人・御家族とともに、“いいかげん”に思い・悩み等を共有しながら、専門的アドバイス（福祉用具・住宅改修、介護方法等）をしたり、本人・御家族と一緒に介護方法など日常生活の実践につながる取り組みをすることだと思っています。まりデイサービス内海では、本人・御家族、他専門職の方々と一緒にリハビリテーションを提供させて頂けるように取り組んでいます。

まりデイサービス内海のイベント例 2017年7月



★流しそうめん



★千羽鶴奉納

「まりデイ」的な

1日の様子

	Aさんの場合	Bさんの場合	Cさんの場合
8:30	送迎		
9:00	健康チェック&午後の活動決定		
9:30			
10:00	新聞を読む	入浴	折り紙 脳トレ
10:30	テレビ鑑賞	リハビリ 自転車こぎ 体操・運動	手芸・工作
11:00	入浴		マッサージ
11:30	集団体操		
12:00	昼食		
12:30			
13:00	マッサージ	ゆっくり	散歩
13:30	選択された午後の活動		
14:00	おやつ		
14:30	テレビ体操		
15:00			
15:30	送迎		
16:00			
16:30			

十人十色

お好きなメニューを選択し
利用時間をお過ごしく下さい!

あなたらしい生活

認知症・生活・活動を、
専属リハ・ケアスタッフで
応援します!



まり デイサービス 内海

あなたの笑顔を応援します！

活動の様子



フラワーアレンジメント



おやつクッキング



体操サークル



座ってペダルを踏んで運動



食事の時間



まりデイサービス概要

《基本サービス内容》

- 送迎 : スタッフがご自宅まで送迎致します
- 入浴 : 当施設の入浴施設をご利用頂けます
- 昼食 : 管理栄養士が考えた食事です
- 営業日 : 月曜日～土曜日
- 営業時間 : 9:00～17:30

《利用対象者》

要支援 1・2、要介護 1～5

《送迎地区》

沼隈地区、松永地区、福山地区

※ 1日無料体験を行っています。

お気軽にお問い合わせください。



※ 基準緩和型通所サービスは木曜日の午後からの利用です。入浴、食事のサービスは利用できません。

リハビリ専門職(理学療法士・作業療法士)が
在籍しています!!

地域とともに・・・



2017年7月30日(日) まりカフェ様子 『皆で考えよう!転倒について』

地域に開かれた施設を目指し3ヶ月に1度、参加フリーの「まりカフェ」(年4回、4月・7月・9月・12月)を開催しています。

また、内海町生涯学習祭り、内海町走ろう会主催の内海町駅伝大会など地域の行事にも積極的に参加させてもらっています。お陰様で季節のお花や野菜を持ってきてくださったり、慰問にきてくださるなど地域の皆様にはたくさんのご支援を頂いています。

【お問い合わせ先】 社会福祉法人 まり福祉会
まりデイサービス内海 TEL: 084-986-2200



ST -Speech Therapy-



言語聴覚士の役割

はじめに

みなさんは言語聴覚士という職業をご存知ですか？言語聴覚士は理学療法士や作業療法士と同じリハビリテーション専門職の一つです。ここでは、言語聴覚士がどのような仕事をしているのかを紹介したいと思います。また、病院や施設だけでなく訪問リハビリテーションにおいても言語聴覚士は活躍しています。訪問リハビリテーションにおける言語聴覚士の役割についても触れていきたいと思います。

言語聴覚士とは

私たちはことばによってお互いの気持ちや考えを伝え合い、経験や知識を共有して生活をしています。

ことばによるコミュニケーションには言語、聴覚、発声・発音、認知などの各機能が関係していますが、病気や交通事故、発達上の問題などでこのような機能が損なわれることがあります。言語聴覚士はことばによるコミュニケーションに問題がある方に専門的サービスを提供し、自分らしい生活を構築できるよう支援する専門職です。また、摂食・嚥下(えんげ)の問題にも専門的に対応します。

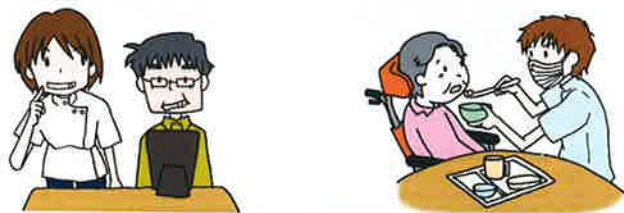
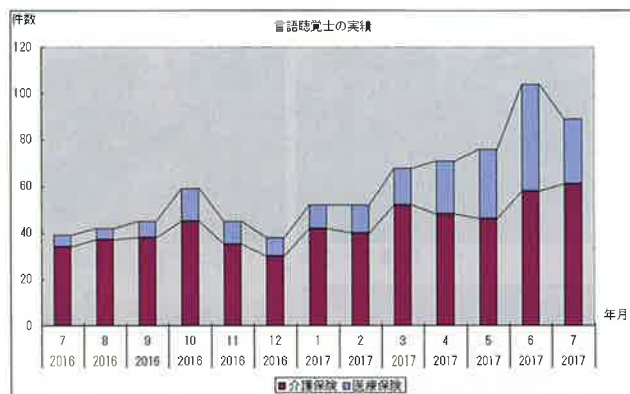
ことばによるコミュニケーションの問題は脳卒中後の失語症、聴覚障害、ことばの発達の遅れ、声や発音の障害など多岐に渡り、小児から高齢者まで幅広く現れます。言語聴覚士はこのような問題の本質や発現メカニズムを明らかにし、対処法を見出すために検査・評価を実施し、必要に応じて訓練、指導、助言、その他の援助を行います。

このような活動は医師・歯科医師・看護師・理学療法士・作業療法士などの医療専門職、ケースワーカー・介護福祉士・介護支援専門員などの保健・福祉専門職、教師、心理専門職などと連携し、チームの一員として行います。

言語聴覚士は医療機関、保健・福祉機関、教育機関など幅広い領域で活動し、コミュニケーションの面から豊かな生活が送れるよう、ことばや聴こえに問題をもつ方とご家族を支援します。(日本言語聴覚士協会より抜粋)

近年の動向

近年は、言語聴覚士の仕事の中でも摂食嚥下分野への関心が高まっており、病院や施設、訪問リハビリテーションにおいて重要視されています。実際に、訪問リハビリテーションでも摂食嚥下に関する依頼が増加傾向にあります。



摂食嚥下障害と誤嚥(ごえん)

食べ物や飲み物を噛んだり、飲んだりすることを摂食嚥下といい、これが難しくなった状態を摂食嚥下障害といいます。

高齢になれば自分の歯が減っていき、唾液が少なくなり、また飲み込みに関係するいろいろな器官の動きが悪くなる等の理由で、餅で窒息しかける、水でむせる、といったことが起こりやすくなります。加齢ということだけでなく、いろいろな原因があります。どこに問題があるかによって、液体でむせやすい、あるいは固形物が食べにくいなど、症状もさまざまです。(日本言語聴覚士協会より抜粋)

食べ物や飲み物、唾液を飲み込んだ時に食道へ流れずに気管へ入ってしまうことを誤嚥といいます。気管から肺までは空気以外のものは入ってはいけないため、誤嚥を繰り返すと肺炎を起こします。それを誤嚥性肺炎や嚥下性肺炎といいます。



言語聴覚士 加藤大樹

あなたのコミュニケーションサポーターです！

訪問リハビリテーションと言語聴覚士の役割

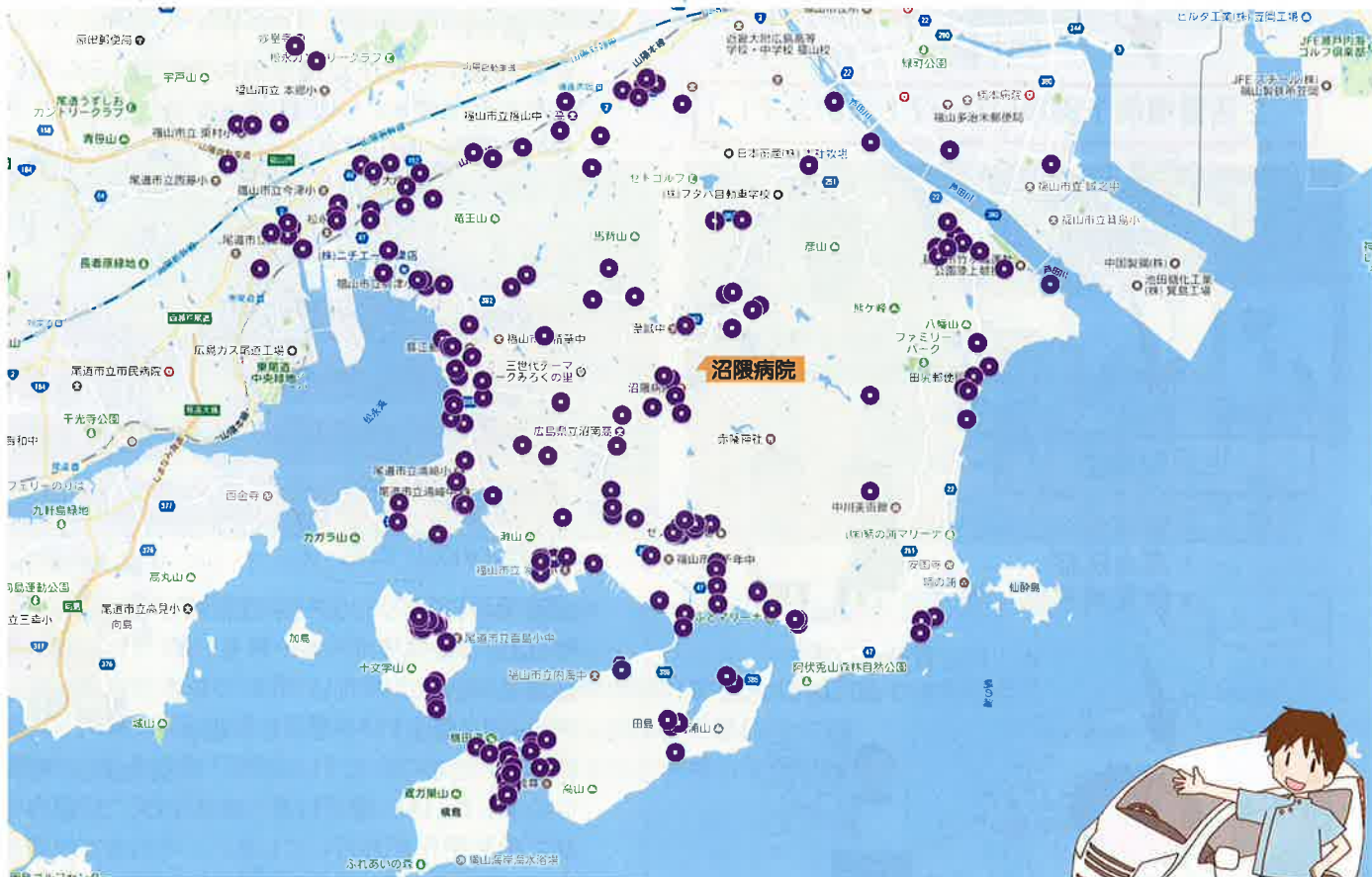
脳卒中等により摂食嚥下障害や身体障害が起り、病院でのリハビリテーションを経て自宅へ退院が可能と判断された場合には、自宅退院後もリハビリテーションを継続するために理学療法士、作業療法士、言語聴覚士による訪問リハビリテーションが開始されます。

障害の程度によって、自宅退院後の生活は大きく変化することが少なくありません。訪問リハビリテーションでは、自宅での生活状況の変化やご本人の身体状況、ご家族の介護負担等を考慮しながらリハビリテーションや助言を行っていきます。

言語聴覚士は、退院後に誤嚥性肺炎を起こさないためにご本人の飲み込みの状態と自宅で提供可能な食事を照らし合わせることや、飲み込みの能力を維持・改善するために嚥下リハビリテーションを行います。

予防の重要性

脳卒中や骨折、肺炎後にリハビリテーションを受けることはとても重要ですが、病気になってからではなかなか元通りにはなりません。病気にならないことが最も重要ですので、しっかり食べて、しっかり運動をして病気を予防しましょう！！



訪問リハビリテーションの現在の活動範囲です。



改善と予防

生活習慣病教室へのご案内!



生活習慣病をご存知ですか?

生活習慣病とは、食事・運動不足・喫煙・飲酒・ストレス等が原因となり発症する病気のことです。自覚症状がないからといって放置しておくことと命に関わる病気を引き起こすこともあります。生活習慣病には、糖尿病・高血圧症・脂質異常症・肥満・心臓病などがあり、日本人の死因の半数以上を生活習慣病が占めているのです。生活習慣病教室は、それらの改善・予防を目的として実施しています。

不規則な生活習慣…していませんか?

- ・偏った食生活
- ・睡眠不足
- ・運動不足
- ・飲酒、喫煙 等



悪習慣を長期にわたって続けると…

生活習慣病予備軍になってしまいます!

- ・肥満
- ・脂質異常
- ・高血圧
- ・高血糖 等



症状を放置したまま悪習慣を続け、徐々に慢性的な疾患になる。それが…

生活習慣病

- ・糖尿病
- ・高血圧症
- ・脂質異常症 等



本人の自覚がないまま、生活習慣病が進行していくと…

重症化



脳梗塞、心筋梗塞、がん、人工透析 等

生活習慣病について

糖尿病とは・・・?

空腹時の血糖値が **126mg / dL 以上**

と定義されています。

インスリンの分泌が低下したり、インスリンの効き目が悪くなると、エネルギーとして利用されなくなります。血液中の糖分が増加し血糖値を上げてしまう状態のことを糖尿病といいます。糖尿病には、1型糖尿病・2型糖尿病があり、食生活・肥満・アルコール・運動不足・不規則な生活・ストレスなどが原因となり起こる2型糖尿病は生活習慣病です。

高血圧症とは・・・?

収縮期血圧 **140mmHg 以上**

または

拡張期血圧 **90mmHg 以上**

と定義されています。

安静状態での血圧が慢性的に正常値よりも高い状態を高血圧症といいます。水圧が高いとホースが傷むのと同様、血圧が高いと血管が傷んで、心臓や血管の病気の原因となります。

脂質異常症とは・・・?

総コレステロール **220mg / dL 以上**

LDL_コレステロール **140mg / dL 以上**

HDL_コレステロール **40mg / dL 未満**

トリグリセリド (TG) **150mg / dL 以上**

と定義されています。

血液中のトリグリセリド(中性脂肪)や、LDL コレステロール(悪玉)が基準よりも高い、または HDL コレステロール(善玉)が基準よりも低い状態のことをいいます。以前は「高脂血症」と呼ばれていました。特に症状はありませんが、血管内で静かに動脈硬化が進行してしまい、そのまま放置すると心臓の血管が詰まった場合には心筋梗塞、脳の血管が詰まったときは脳梗塞をおこしてしまいます。

コレステロール



管理栄養士へご相談ください!!



管理栄養士 藤原由里絵

生活習慣病「糖尿病・高血圧症・脂質異常症」に「肥満」が加わると…



「死の四重奏」と呼ばれ、単独でのリスクは軽くても、積み重なることによりリスクが増大します。

肥満とは・・・?

体に脂質が過剰に蓄積された状態のことで、疾病を意味するものではありません。肥満であるかどうかは体脂肪量によりますが、指標としてBMI(Body Mass Index)が世界的に広く用いられています。

《BMI=体重〇〇kg÷身長〇〇m÷身長〇〇m》

BMIが25以上であれば肥満です。ちなみに、肥満症とは「治療しなければならない肥満」のことです。

これらを予防するには、食生活や運動を改善することが必要です。生活習慣病教室で一緒に改善・予防を試みませんか?

毎月「生活習慣病教室」を開催しています!

講義

テーマに応じて、医師・看護師・薬剤師が講義を行います。理学療法士や作業療法士による10分程度の運動や、管理栄養士が作った低カロリーのおやつを試食も設けております。また、開始前に身長・体重・血圧の測定を行います!テーマが糖尿病の時は血糖値、骨粗鬆症の時には骨密度を実際に測定します。熱中症の時は実際に経口補水液を手作りし試飲していただきました!



試食会

管理栄養士がテーマにそった食事についての講義と、ポイントをいかした食事をお楽しみいただきます。



運動教室

理学療法士や作業療法士が講師となり、普段の生活の中に取り入れやすい運動と一緒に実施します。車椅子の方でも出来る運動です!腰痛予防・転倒予防・ヨガ・ストレッチなど行っています。



料理教室

管理栄養士がテーマにそった食事を考え、一緒に作ります。(1年に1度開催)普段、料理をされない方や男性も参加されますので、お気軽にご参加ください。



申し込み方法

生活習慣病教室のご案内を館内にて配布・設置しております。また、電話での申し込みも可能です。生活習慣病の方を対象としておりますが、興味がある方もぜひご参加下さい。

日 程：毎月第4土曜日(祝日等の場合は変更有)
場 所：沼隈病院 4階 ハートフルホール
対象者：患者様・ご家族様
参加料：240円(保険適応の方は次回の診察時に頂きます)
☆試食会・料理教室時は材料費別途500円頂きます。
内 容：糖尿病・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病の中からテーマを決め、講義・試食会・運動教室の3つを1クールとして行っています。

問合せ：沼隈病院 084-988-1888

